



オンラインで大学教授の研究室を訪問 学校の壁を越えて、興味ある対象を共に学ぶ体験が可能

夢ナビ講義動画を視聴し、興味を持った大学教授の研究室にオンラインで訪問する貴重な体験を通して、生徒の学問発見・大学研究をサポートします。

「夢ナビ講義 研究室訪問」実施内容例

「夢ナビ講義動画」による事前の学問研究

視聴した動画の中から、エントリーする「夢ナビ講義 研究室訪問」を決める

- 大学教授800名の講義動画
- 語りかけるスタイルの講義動画
- 研究内容の理解・ミスマッチを防ぐ
- 選択肢を作る・決定する機会
- 自覚していない関心との出会い
- 研究室訪問への関心喚起・行動喚起



夢ナビ講義 研究室訪問

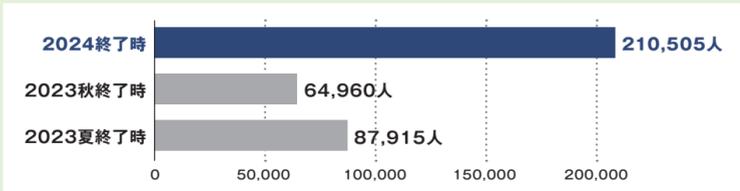
オンラインで大学教授の研究室を訪問することをイメージしたプログラム



- 導入の工夫
- チャットの活用
- 講義動画の簡単な振り返り
- 最新の研究内容の紹介
- 研究室・実験機器の紹介
- フィールドワーク紹介
- ゼミ生の参加
- 事前質問回答・質疑応答

講義動画の視聴者のべ人数が大幅増加！ ※視聴者のべ人数は、各講義動画の視聴者数の合計値です。

2024年度は7月から講義動画が視聴可能となり、視聴者のべ人数が大幅に増えました。講義動画を視聴してから、参加したいプログラムを選択できます。



動画視聴後の生徒の声

講義動画の視聴により、研究室訪問への期待感を醸成

- 講義動画でザリガニというたった一つのテーマからこんなにも保育の面白さや魅力を学べるとは思ってもいませんでした。研究室訪問もとても楽しみです。
- 自分も研究してみたいと強く思える動画でした。先生が恐竜をとても好きだということが伝わって、自分が好きな恐竜や古生物のことを本気で学べるところなのだと思いました。
- 動画を見て、建築系に興味を持つ自分に合っているのではないかと思います。夢ナビライブ当日には、講義や他の参加者の方の質問をもとに、今よりも知識を深めたいです。

興味の芽生えにある生徒が偶発的な出会いを体験

- 最初は「コミュニティデザイン」ってなんだろうと思いつながら動画を再生したのですが、住民の皆さんと「共に」、町をより良くしていく学問だとわかり、興味を持ちました。
- 言葉や音などの分野に少し興味があり、講義動画を視聴した。自閉症スペクトラム症という言葉は聞いたことがあったが、こんなに奥の深い世界だということを知った。
- 高校にきて歴史や国際問題と触れ合う機会が増え、自分が知らない世界をもっと見てみたいと思って先生の講義動画に辿り着きました。

事前に「質問登録」して参加できる環境を提供

「事前の質問登録」や「チャット」による質問や意見表明など、直接発言しなくても大学教授とコミュニケーションを取ることができる環境を提供します。

Q 生徒が登録した質問

医療の道に携わりたいと考えていますが、研究者として癌治療に携わる新しい視点も得られました。外国の癌治療の研究にも興味があるのですが、中心的な国はどこですか？将来、留学して研究したいです。

A 大学教授・大学からの返信

私は米国衛生研究所に行きましたが、そこは世界最大の研究所でした。他にもフランスのパスツール研究所、ドイツのDKFZなども素晴らしい研究施設です。Best of luck in your future!

「夢ナビ講義 研究室訪問」に対する声

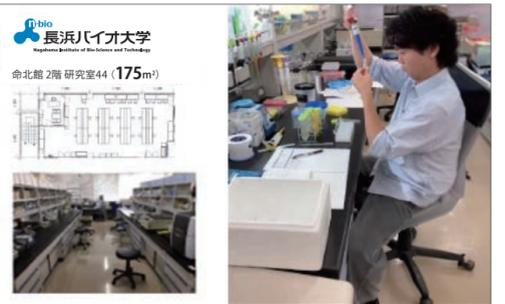
高校教員の声

- 夢ナビライブへの参加がきっかけとなって志望学部が明確に決まったと、面談で担任に報告してくれた生徒がいました。かけがえのない機会が得られたことに感謝いたします。とりわけオープンキャンパスに気軽に行けない立地の高校生にとっては、とても良い機会になりました。
- 視野が狭い生徒が多く、周囲の普通を自分の普通と考える傾向にある。未知の世界、同年代の興味・関心・視点に触れる機会はそう多くはなく、その部分を補う素晴らしい企画だと思う。
- 遠く離れた大学や教授とのコミュニケーションもさることながら、オンラインによって、出会うはずもないであろう同年代とコミュニケーションをとれるのが醍醐味だと思っています。

プログラムを担当した大学教授の声

- 事前の質問も多くもらっており、当日も質問をしてくれる高校生が多かったため、担当した2回の研究室訪問とも時間を超えてしまいました。
- 高校生は非常に意欲的で、真剣に講義動画を視聴して質問を送ってくれました。当日も多くの高校生が延長して質問をくれました。私の研究の励みにもなる経験になりました。
- 九州の高校生の声に対して、北海道の高校生がなるほどと思えることは、オンラインならではのよさであり、相互の学び合いの時間が生まれていたと思います。

研究室・実験機器の紹介



メダカの多様性から探るオスメス決定遺伝子の進化
長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科
准教授 竹花 佑介 先生

[POINT]
学生が実験している様子や、液体窒素管理室や水槽室の仕組み、保管しているメダカの様子紹介など、実際にその研究室のゼミ生になったような体験ができた。



1滴の血液・唾液から 目指せ！病気の早期発見！
四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科
教授 高崎 昭彦 先生

[POINT]
実験室の様子や学生インタビューでイメージが深まった。実際に機器を扱って研究を行っている学生さんを見て、私もこんなふうになりたいなと思った。

導入の工夫



[POINT]
プログラムのアジェンダの説明後、先生からの「逆質問」にそれぞれチャットで回答し、「共に学ぶ一感」を醸成。研究室の本棚から「おすすめの本」を手にとって紹介するなど、専門家ならではのアドバイスがあった。

チャットの活用

社会学系統 実施事例

[テーマ] オーバーツーリズム

先生 観光にどんなイメージを持っていますか？チャットで回答してください。

生徒A 思い出
生徒B 感動に出会う
生徒C 楽しいもの
生徒D 人と場所が繋がるもの
生徒E 観光とは本来旅する土地のコミュニティを体験して非日常を体験するもの。旅する土地に迷惑をかけてはいけない。

工学系統 実施事例

[テーマ] ロボット

先生 どんなロボットの研究に興味がありますか？チャットに書き込んでみてください。

生徒A ロボットと言えば自動運転に興味があります。
生徒B 医療の現場に関わるロボットに興味があります。
生徒C 人とおしゃべりする対話ロボット
生徒D 自動運転など自律型ロボットに興味があります。ロボカップをやっているの。

[POINT]
チャットで「どんなロボットの研究に興味があるか？」というスタート。チャット上で他の高校生の回答を確認でき、自分にはない発想に驚く高校生が多かった。

「夢ナビ講義 研究室訪問」に参加した生徒の声

チャットの活用
今回はチャットで質問や意見を伝えた。先生たちは優しく、意見を否定することもなかったのでもって発言しやすかった。普段考えないことをたくさん考えられ、参加してよかった。

研究室・実験機器の紹介
オープンキャンパスに行ってもなかなか詳しく見られない研究室や実験室の紹介を前から求めているのでとてもうれしく、勉強のモチベーションになった。

ゼミ生の参加
先輩方が経験したことをもとに、質問にたくさん答えてくださったのでありがたかったです！大学を選んだきっかけなどの話を聞くことができて貴重な時間を過ごすことができました。